



Harley-Davidson **Guide** 5

こんなカスタムはいかが？

見た目も乗り味もびとびとあるFLTRに、自分の乗り方に合わせた味つけを加えれば、新たな魅力が引き出せます。

カスタムは、二人乗りでツーリングするため

'07 FLTR / 石塚英顕さん

文◎中野ユキエ Tat : Shiroki Nishino Photo◎鈴木大祐 Photos : Mochiki
取材協力◎ハーレーカスタムショップ「ハルキー」(福岡市南区) <http://www.harley.jp>



そ れまで00年型のFXSTDに乗っていた石塚英顕さんが、07年にFLTRに乗り換えたのは、奥さんと一緒にツーリングに行くようになったから。

「ショップで試乗させてもらったら、風を受けず快適だったんですよ。それに、ボディと同色のキング・ツアー・バックが付けられるのもポイントでした。二人分の荷物を収納したかったですからね」

ツアー・バックには、バック・レストとスピーカーを装備して快適性を高め、サドル・バックのツイン・レールで豪華さを演出している。

「カスタム費用には150万円くらいかかってしまいましたが、FLHTCUIよりも軽快なハンドリングができるので気に入っています。このオレンジの車体色も、FLTRならではの。今後は、この色をベースに大理石のような鏡様の塗装を試みたいですね」

ロア・フェアリングのラインやマフラーは、石塚さんが自ら取り付けただのもの



低めの純正ウインド・シールドを取り付けて、さらにクロームのトリムを追加



ロア・フェアリングや足元の風を軽減、カッティング・シートでライティング



キング・ツアー・バックにひきかけ付きのバック・レストとスピーカーを装備



シートは「ハトレダビッドソングレインボ」で加工して足つき性を向上





「ロードグライドが かわいくて仕方ない！」

05 FLTR / 池田宏さん

文：山野仁史 Text：Hiroki Asano 写真：鈴木大知 Photos：MORIMORI
取材協力：ハーレーダッドランドレンジャー（@DadLandRanger）



68 歳で現役鉄馬乗りのお父さんから、ハーレーの楽しさを教わったという池田宏さん。76年式FLHや96年式FLSTNも所有しているが、一番のお気に入りFLTRだ。

「初めて見た時は、あまりピンとこなかったんです。でも先輩がFLTRに乗っていて、そのカスタムがすごくてカッコよかったです！それがきっかけで購入し、カスタムはエンジンやカバー類をクロームにして、さらにバック・レストやダブル・ホーンを付けています。近く、LEDのテール・ランプも付ける予定です。今はこのFLTRが、かわいくて仕方ないんですよ」

機械性のイイ愛車は、スポーツ・バイクに乗っている友人からもちろめ目撃されているとか。

「ウィンド・シールドをあえて低くしていないので、かなりスピードを出してもぜんぜん平気なんです」

シートの下には、キジマのFRP製ヒート・ガードを装着。夏の過熱で効果を発揮

パンス&ハインズ製のマフラーを始め、池田さん自身がカスタムした点も多い



家族を乗せて走ることもある池田さんにとって、バック・レストは必需品だ



ミッションとエンジン間のカバーやペダルは、純正パーツでドレスアップ



市販のダブル・ホーンも自ら装着。現在はカッコイイカバーも物色中

